

姉崎小学校の子どもたち

相川 宏

一年生と【昔のあそび】

1月28日、姉崎小学校において一年生50名、先生方、アネッサの方、姉小ネットワーク17名参加のもと【昔のあそび】を約二時間にわたり行いました。竹馬、竹とんぼ、コマ、けん玉、紙飛行機、綾取り、羽根つき等を共に楽しみ盛況のうちに終了できました。

また、終了時、食事を共にして、生徒のみなさんたちと心からの融和を図ることが出来ました。近年ハイテクな遊びが流行る中、温かみの無い世情になっている現状に鑑み遊びの原点に戻り実施できてとても意義のあるものになりました。今後も協力してまいりたいと考えています。

【コマ】

【竹うま】

【あやとり】



【六年生を送る会】



2月25日、姉崎小学校体育館において、六年生の卒業を祝い感謝の気持ちを伝えるため【六年生を送る会】が実施されました。

第一部、引継式【児童会本部、委員会を6年生から5年生に引継】第二部、ありがとう会【学年発表】が行われ引継および感謝の気持ちが伝えられました。姉小ネットワークから7名が出席しました。姉小ネットワークとして6年生の卒業と将来をお祝いするとともに感謝の意をお伝えしました。

子どもの行事「桃食って」

中島宗光

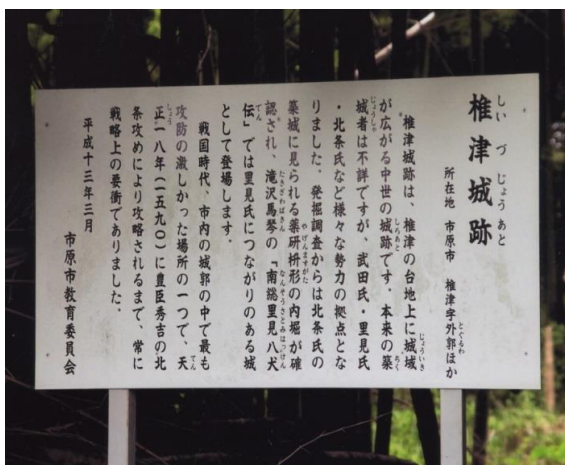
夏の祭礼は姉崎神社が7月20日、椎津八坂神社が7月22日と決まっていた。

昭和30年前後は、小学校の夏休みは8月からであった。

「桃食って」は、お神輿が渡御する前に行われる。邪気を払うために行われたものだ。参加できるのは、小学生以下で、かつ男性だけである。当日まだ学校は授業をしているので、朝早く小学校に行って早退の手続きをしてくる。お獅子の面を被った上級生の後に下級生が付いていき、家庭ごとに「桃食って くてらんね お獅子が舞い込んだ」とはやしながらか心付けをもらう。親から小遣いがもらえない当時としては、楽しい行事であった。ただ、上級生と下級生では、金額の差がかなりあったが。なお、現在も椎津地区の「桃食って」は継続しているが、少子化の影響で人数は最盛期の2割ほどになってしまった。写真は上町の子どもたちで参加している人からみて昭和20年後半と思われる。



健康寿命を延ばそう



!! 歴史散歩 しましょう !!

椎津城 激動のドラマ②

1. 椎津城の歴史

椎津城の歴史は、北条・里見・武田氏の関東における覇権争いの歴史でありました。

戦国時代、上杉謙信と武田信玄が川中島で決戦をしていたころ、関東では小田原北条氏と安房里見氏がともに関東の覇権者にならんと互いに勢力圏を拡大していました。そして両者は上総・下総で激戦を繰り返し、椎津城もその真っ只中におかれていました。さらに足利氏も加わり、多くの勢力がぶつかり合う激戦地区となり、落城を含め7回にも及ぶ大きな戦闘が続き、その都度城主は、自刃または殺害され壮絶を極めたといわれています。最後の第七代藩主は、白幡六郎（通称、椎津小太郎）です。

伊東茂雄